

省エネ診断実施例

本荘水源地

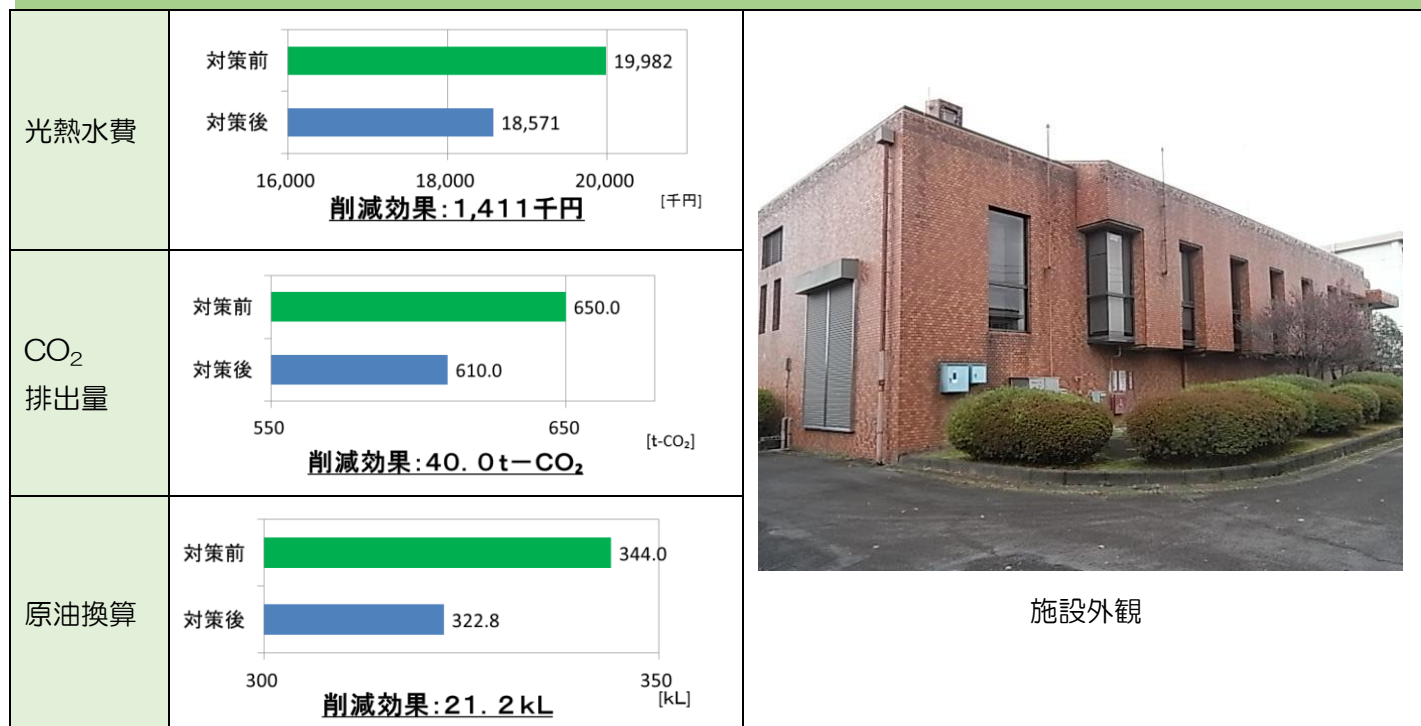
◆ 診断内容の要旨

- 投資不要な運用の改善によって年間約184千円の光熱費の削減が見込まれる。
- 5年以下の投資回収期間で実施できる対策によって、年間約195千円の光熱費(CO₂排出量:0.4t-CO₂)の削減が見込まれる。

◆ 改善提案

改善提案項目	改善提案内容	削減額 [千円]	投資額 [千円]	回収年 [年]
1.ポンプ室換気ファンの運転時間を変更	ピーク時間帯を避けた運転をすることで最大電力抑制を図る。	184	—	—
2.受変電室の換気ファンを室温制御に変更	スケジュール制御から室温制御に変更することで、省エネを図る。	11	9	0.8
3.ポンプ軸受をメカニカルシールに変更	締め付け抵抗によりエネルギーロスが生じるグランドパッキンからメカニカルシールに変更することで省エネを図る。	644	8,800	13.7
4.ポンプ用モータをトップランナーモータに更新	取水ポンプ、配水ポンプに使用しているモータを、高効率であるトップランナーモータに更新することで省エネを図る。	507	6,800	13.4
5.トップランナー変圧器に更新	高効率であるトップランナー変圧器に更新することで省エネを図る。	65	3,460	53.2
	合計	1,411	19,069	—

◆ 削減効果の見込み



◆ 他にも適用できる施設例

- 換気ファンの運転がスケジュール制御となっている施設
- ポンプ軸受をメカニカルシールに変更する余地のある施設
- ポンプのモータをトップランナーに変更可能な施設
- 変圧器の更新時期を迎えている施設

◆ その他の効果

- 中部電力が運営する法人向けサービス「ビジエネ」を活用することにより、時間ごとの電気使用量を確認することが可能となる。
- 類似施設におけるエネルギー使用量を原単位でグラフ化することにより、エネルギー利用効率を施設間で比較できる。